



すぎやま あきら
杉山 亮
おもちゃ作家
児童書作家
ストーリーテラー

自己紹介

1954年、東京生まれ。1976年に保育専門学校に入学。卒業後、各地の保育園などに勤務。30歳のとき、おもちゃ作家に転身。全国各地の画廊で個展を開催。毎年、おもちゃ箱フォーラムも主催している。また、児童書や絵本のテキストも執筆している。

★午前の部「子どもとものごたりのいい関係」
本を書かれる側からの「子どもの本の世界」の現状を“うちどく（家読）”の話も交えてお話頂きます。なかなか聞くことのできない貴重な時間です。お楽しみに！
対象：大人（1月11日より申込受付）

★午後の部「杉山亮のものがたりライブ」
“大人と子どもがいっしょにものがたりを聞いて楽しむ場を作りたい”という思いから開催する「ものがたりライブ」。むかし話や、うそみたいなほんともみたいな、お腹をかかえて笑えるお話がいっぱいです。みんなで来て下さいね！
対象：大人、子ども（1月11日より申込受付）

絵本だいすき 2017
いっしょによもうね！！
～おやこで、かぞこで、ともだちで～
2017年2月4日～19日
八女市立図書館 本館・分館

NPO Manabitto yahime news ～図書館だより～
なかよし八媛
No. 42 2016. 12

八女市立図書館に杉山亮先生がやってくる！




杉山亮のものがたりライブ
2017年2月19日(日)
午前の部 10:00～
午後の部 13:30～
おいなす八女 はちひめホール

『よーいどんで名探偵』偕成社、『ショコラ対にせショコラ』あかね書房、『にゃんにゃん探偵団』偕成社

作品紹介 作品の一部を紹介します

あなたも名探偵シリーズ
ひとつの話が問題編と解決編にわかれて、絵をよく見ると、事件解決のてがかりが見つかるように構成。妻と別居中のさえない探偵ミルキーが、妻や子の助けを借りて難事件の解決にいとむ。
『まっぴん名探偵』偕成社（J913 社）

怪盗ショコラシリーズ
ケーキの店シェルプールの店員・ショコラとセーヌとナポレオンの3人は、実は、依頼があればなんでも盗んでみせる世界一スマートでおしゃれな大どろぼう。読者参加の迷路やなぞときも、話の中にちりばめられています。
『ムーンライト作戦』あかね書房（J913 社）

杉山亮のおばけ話絵本シリーズ
「おばけ話のスタンダードを子どもたちに伝える」がコンセプトのシリーズ。おばけ話は、ただ恐がらせるためだけのものではなく、人間への戒めや教訓といった、大切なメッセージもこめられています。
『かっぱ』ポプラ社（JE 加）

杉山先生への質問を大募集！
杉山先生に聞いてみたいことを募集します！
大好きな作品の裏側が知れるかも…？

募集期間
12月1日(木)～
八女市立図書館 本館



不明本の一部です



『現代の国語』1～3 三省堂、『地球の歩き方 パリ島D26』ダイヤモンド・ビッグ社、『理科好きな子に育つふしぎのお話 365』誠文堂新光社、『マンガでおさらい 中学英語』KADOKAWA、『教団X』集英社、『淡々黙々。』幻冬舎、『これだけ！高校生物』秀和システム、『からだの地図帳解剖学用語』講談社

10/27～11/13 マナーアップキャンペーンを実施しました

読書週間にあわせて、秋のマナーアップキャンペーンを実施しました。汚損の激しい本の展示などを行い、図書館マナーについて呼びかけました。足を止められた方も多かったのではないのでしょうか。

また、9月に行った蔵書点検で62冊の本が所在不明となっていることがわかりました。本を借りるときにはカウンターでの手続きが必ず必要です(手続き無料)。ご不明な場合は職員までお尋ねください。

期間中には「〇〇の秋み～つけた！」と題して、本のおたのしみ袋の貸し出しも行いました。どんな本が入っているかは、借りてからの楽しみ。みなさんはどんな本と出会えましたか？




クリスマスおはなし会
12月24日(土)午後2時～ 八女文化会館

サンタさんが来てくれるかも？

なかよし文庫による人形劇や大型紙芝居、エプロンシアターなど楽しいお話がいっぱいです。また、おいなす八女ハンドベルオーケストラによるハンドベル演奏は必見です。ぜひご来場ください。



年末年始の休館のお知らせ
12月29日(木)～1月4日(水)は休館します。

休館中の返却は返却ポストをご利用ください。
※CD、DVD、ビデオ、相互貸借資料のポストでの返却はご遠慮ください。

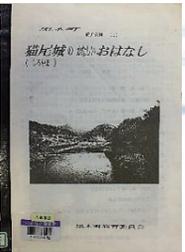
↓返却ホストは玄関の近くにありますが



1月5日(木)より通常開館します



『郷土のものがたり』
福岡県総務部広報室
編/福岡県
(K388フ000)



『猫尾城(しろやま)のかなしいおはなし』
田形光義編著/
黒木町教育委員会
(K388ク356)



『黒木氏四百年の存亡』
樋口正博著・発行
(K209.3七)

黒木町に伝わる悲しい伝説と
二つのお祭りを紹介します



「剣が淵」の伝説

黒木の猫尾城の城主、源助能は横笛の名手、妻の春日は琴の名人で、仲睦まじい二人の合奏はたいへん素晴らしいものであった。

ある時助能は、御所の警護をするため都に上ることになる。二年目の正月のこと、帝を招いた舞楽の催しで、横笛を吹くようにと命じられた。助能の見事な笛の音に帝は喜び、褒美として「調」の姓と、宝剣、そして待宵小侍従という女官をお与えになった。

一方、黒木で待つ春日は、夫が女官を連れ帰ることを嘆き悲しみ、乳母や侍女ら十三人と共に矢部川に身を投げてしまった。

その後矢部川の大洪水など、黒木には災いが続いた。春日たちの霊を慰めるために、助能が帝からもらった宝剣を川の淵に沈めると、元の平和が訪れた。それからここを剣が淵と呼ぶようになったという。

これは平安時代の終わりごろのお話とされていますが、約800年たった今も、この物語に関連した地域の祭りが行われています。連綿と続く祭りを知ると、ただの伝説だ、昔話だと言いついてしまうのは惜しい気がしますませんか？

左側に紹介した本は、簡単な物語として読める本や、関連する祭りや文化財なども紹介した本、当時の歴史的背景まで詳しく調べて小説にした本など様々です。図書館で借りることができるので、もっと知りたい方は、ぜひ読んでみてください。

本の配架



カウンターでの貸出・返却や、本の装備などたくさんの仕事を体験しました。館内には二人のおすすめの本を、手作りのPOPと一緒に飾っています♪

福島中学校
中村碧依さん
藤本花恋さん

11月17日・18日

職場体験



12月18日 生木焚き神事

剣が淵から3kmほど下流、黒木西小学校の東がわの築地という地域に小さな神社があります。

矢部川に身を投げた春日や侍女たちはここで引き揚げられたと言われており、彼女たちの体を暖めるために火を焚いたことに由来する祭りが、地元の人々の手で続いています。



1月17日 十七夜祭

剣が淵から8kmほど下流の柳島地区の若宮神社の観音堂前では、「十七夜さん」という火祭りが行われます。

鮎形売りの行商人が、岸に流れ着いている観音像を見つけて引き揚げ、火を焚いて暖めたことに由来します。この観音像は春日、または侍女の一人が持っていたものとも言われています。

正月のホッケンギョウ(ホンゲンギョ)の行事とも重なっていて、竹と藁でできた10mほどもあるホッケンギョウは同種の祭りの中でも大きなものです。この火に、人々は一年の無病息災を祈ります。今でもこの祭りでは鮎形の屋台が出ており、別名「あめがた祭り」とも言われます。

八女市立長峰小学校
読書ボランティア

オリオン

地域の方への呼びかけで、私たちのグループは発足しました。

発足当時、星の話を子どもたちに語ってくださる方がいて、親子読書会で夜に天体観測を催したこともあり、その時に見た星の名前から「オリオン」と名付けました。

八女市内の
ボランティア紹介
第11回



現在、メンバーは10名です。月に2回、朝の読み聞かせで活動しています。

また、福島中学校と、児童発達ステーション「さら」にも、それぞれ月に1回訪れて読み語りをしています。

小学校から中学校までの9年間を継続して子どもたちに関わることで、それぞれの成長を見ることができて、たいへん嬉しく思っています。

これからも、読み聞かせを通じて、できる限り多くの本を子どもたちに手渡すことを心がけて、活動を続けていきたいと思っています。

図書館員のおすすめ

BOOK



『大久野島からのパトン』
今関信子 作/新日本出版社(J913イマ)

最近「うさぎ島」として話題になった大久野島を訪れました。そこは、観光客で賑わう、うさぎの楽園。しかし、戦時中までは、地図上からも消されていた島でした。忘れてはならない真実を、大人だけでなく子どもにも知って欲しいと思います。

『ハンドメイド作家になりませんか?』
沼里良枝 監修/ブティック社(594ハ)

近ごろ流行りのハンドメイド。人によって作るものは様々でしょう。この本は、作った作品の販売方法や、教室やワークショップを運営するにはどうしたら良いかなどを紹介しています。あなたも、自分の得意なことを仕事にしてみませんか?



『虫のしわざ観察ガイド』
新開孝 文・写真/文一総合出版(486シ)

あれあれ?葉っぱが丸まっているのも、木の実みたいなコブも、あれもこれも虫のしわざ!?家のまわりや公園など、ふだん何気なく目にしている光景の中に隠れた、“虫たちの生き方”を楽しく知る本です。